

瑞浪超深地層研究所の 施設活用について

平成20年11月28日

独立行政法人日本原子力研究開発機構
東濃地科学センター

写真：主立坑（深度250m）坑底から坑口を見上げた様子

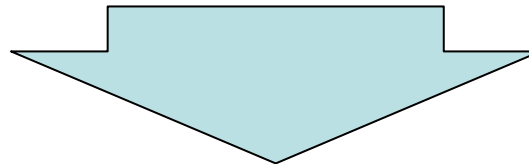


これまでの経緯と報告事項

1

当面の施設活用方策（第4回跡利用検討委員会（H16年9月27日）でのご承認）

イベントなどで実施してきた活動を今後も継続
深度100m毎に設置される予備ステージの活用などの具体策を策定し、本委員会に報告し、ご意見を頂きながら研究所施設の活用を進めていく



今回の委員会での報告事項

研究坑道を利用した施設活用の実施状況
深度300mの水平坑道について

現場での研究成果パネルの展示

深度200mの予備ステージ、ボーリング横坑（主立坑側及び換気立坑側）では、地下水の水圧や水質及びひずみ計測の観測を行っています。これらの研究成果を、現地にてパネルを設置し施設見学会等で広く紹介をしています。

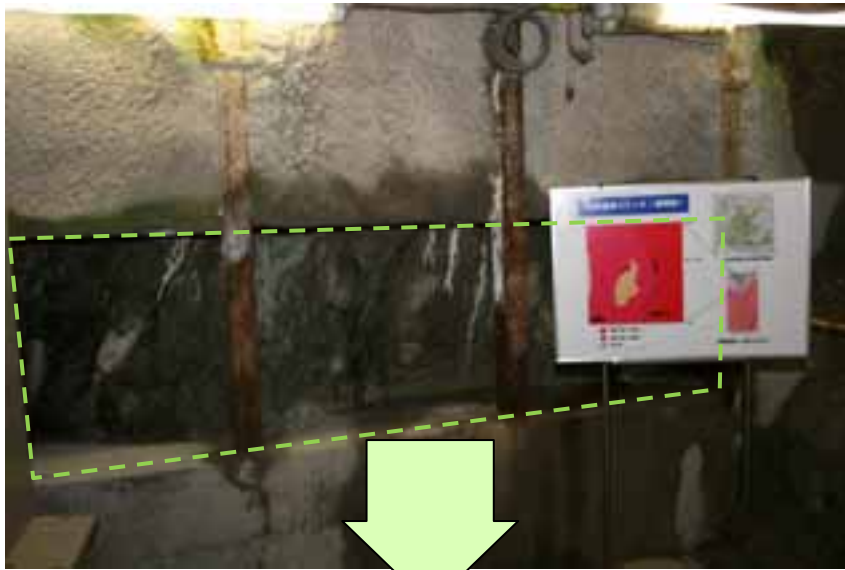


深度200mボーリング横坑(換気立坑側)でのパネル展示






深度200m避難所でのパネル展示

深度200mのボーリング横坑(主立坑側)の活用方策



【地層観察のスケッチ】



| | | | |
|---|----------|---|----------|
|  | 変質の弱い花崗岩 |  | 変質の強い花崗岩 |
|  | 貫入岩 | | |

ボーリング横坑(主立坑側)の奥では地層の露出部分を設け、実際の地層を見て触れられるように整備しました。



高校生を対象とした先端科学体験

【サイエンスキャンプ】 高校生のための先端科学体験合宿プログラム

実施日：平成20年3,8月
参加数：13名（3月）,10名（8月）



断層せんべいを使った講義の様子



ボーリングコアの観察の様子

【スーパーサイエンスハイスクール】 文部科学省が進める科学技術、理科・数学教育を重点的に行う学校をスーパーサイエンスハイスクールとして指定し、科学技術系人材の育成に資する。



平成20年5月：岐阜県立恵那高校（85名）



平成20年8月：名古屋市立向陽高校（63名）

学校教育への協力



平成20年2月：多治見市立多治見中学校（3年生）への
「エネルギー環境学習に関する講師派遣」

小学生による掘削現場の取材への協力



平成20年3月：こどもタイムズの記事（中日新聞）

施設見学会の開催



施設見学会見学者数
（平成19年10月～平成20年10月、約340名）



瑞浪超深地層研究所では、毎月1回の坑道内の見学会を定期的に行っています。

毎月1回の施設見学会（深度200m）の様子

各イベントへの協力

「おもしろ科学館2008inみずなみ」（平成20年11月）



ココアと煎餅を用いた断層実験教室



瑞浪超深地層研究所見学ツアーの様子

サイエンスワールド主催のサイエンスフェア（平成20年8月）



各イベント参加者数

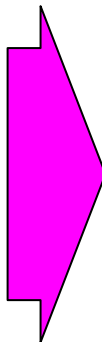
断層実験教室（約400名）
地層・断層ツアー（36名）
研究所ツアー（25名）

立坑壁面表示システムWeb版

研究坑道の地層の壁面写真やスケッチを用いて、パソコン上で連続的に観察することができるシステムを東濃地科学センターのホームページからご覧いただけるようになりました。



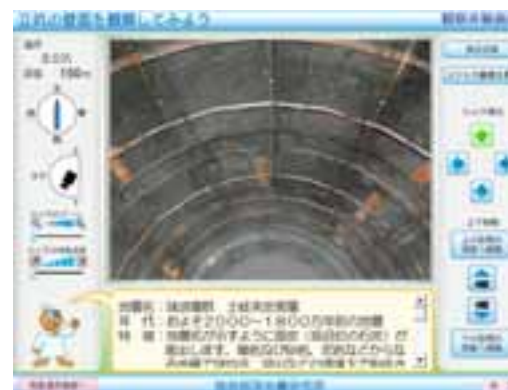
東濃地科学センターホームページ
(<http://www.jaea.go.jp/04/tono/index.htm>)



【導入画面】



【壁面画像（深度100m予備ステージ）】



【壁面画像（主立坑：深度150m）】



300mの水平坑道の活用について

深度300mに掘削する水平坑道についても、実際の地下の環境や研究現場の体験などができるように準備を進めてまいります。